



飯山市区長総会

4月20日、市内各集落の区長さん、行政関係者などが一堂に会し、平成19年飯山市区長総会が市民会館で開催されました。

各地区から発表された議題と、市長答弁の概略をお伝えします。(議題・答弁は抜粋)

平成19年

中央橋の早期架け替えを決議

総会の最後には昨年に引き続き、一般国道403号橋りょう「中央橋」の早期架け替えを決議。会場で飯山建設事務所長に決議書が手渡されました。



◎飯山建設事務所 戸田所長に決議書を手渡す区長会協議会 関副協議会長

常盤地区

「常盤地区内における内水排除・千曲川堤防漏水対策について」

近年の千曲川増水時には、内水排除能力の限界を超え常盤田圃が冠水したり、千曲川堤防が漏水したりする被害が発生した。そこで広井川内水排除について、計画どおり処理能力毎秒1トンのポンプ9基設置を関係機関に働きかけてほしい。また千曲川堤防の漏水、破堤等災害の未然防止に関係機関とともに努めてほしい。

市長 広井川内水排除ポンプの設置については、既に設置されていた7基に加え、昨年、毎秒0.5トンではありますが、2基の常設ポンプが設置されました。市としても更に、排水ポンプの増設に向け、国・県等に対し要望を続けていきます。

昨年の千曲川増水の際には、常盤・飯山・木島で漏水が発生し、その他市内数カ所で河岸等の決壊も発生しその対応に消防団や地元の方々の協力をお願いいたしました。それらの災害箇所において今年度末までに復旧工事が完了する予定ですが、市としても今後最大限の努力を続けていく覚悟です。

木島地区

「千曲川右岸 坂井・天神堂沖の補強について」

昨年7月の豪雨では、千曲川右岸堤防のあちこちで漏水が発生した。その後、災害復旧護岸工事の見通しがついたとのことだが、国・県・市それぞれの事業の連携をとっていただき、やり残しのない補強対策により、一日も早く、水害に強い河川等の改修整備をお願いしたい。

市長 平成16年の台風23号、また昨年7月梅雨の増水時には、千曲川右岸からも漏水が発生しましたが、消防団の皆さんにより適切に月の輪工法が施工され事なきを得ています。深く感謝を申し上げます。

災害復旧については、坂井地先2カ所約460メートル、木島平地約120メートルの合わせて約580メートルを実施する旨の連絡がありました。

その他、市内7カ所で河岸決壊、蛇籠流出の復旧、漏水対策工事の報告をいただきました。詳しいことは、わかり次第お知らせいたします。

瑞穂地区

「移住・定住促進策と 犬坊山の有効利用について」

少子高齢化の進展は瑞穂地区でも他人事ではない状況となっている中、市では今年度「移住・定住促進対策」が施策の柱の1つに掲げられ大変期待している。都市生活者のニーズにあった自家菜園付き住宅(クラインガルテン)等も考えられると思うが、犬坊山地籍の有効利用について市ではどう考えているか。

市長 市では現在、飯山住んでみせん課を中心にJAやふるさと回帰支援センターと連携しながら、宿に泊まり自ら畑を耕し管理・収穫をする「飯山版クラインガルテン」ともいえる体験メニューを提供するなどしながら誘客を促進しており、既存の宿泊施設や遊休農地の有効活用を図りながら、今後も積極的に事業を展開していきたいと考えています。

犬坊山の活用については、上水道供給が大きな課題と考えています。立地・景観といった良い部分とあわせて考慮し、地元の皆さんと共に有効活用方法を検討していきたいと考えています。

飯山地区

「賑わいのある新幹線飯山駅前整備の見通し(計画・方策)について」

大型店の進出などに伴い、市街地の中心商店街は減ってきている。様々なイベントを行い、活性化を図っているが思うような賑わいは生まれていない。

そこで、新幹線飯山駅開業に向けたにぎわい創出のための具体的方策や、近隣を含めた広域観光、駅周辺活用についてはどのように考えているか。

市長 駅周辺は、新幹線開通により商業的潜在能力が高くなると思われ、賑わい創出のための空間確保が必要です。このため、区画整理事業においては、駅前広場付近に一定程度の土地を市の宅地として換地し、多くの関係する皆さんと協議を進めていきたいと考えています。

駅前の土地利用は歴史・風土や景観という視点から、また、幹線道路については人や車の交通の利便性などの視点のみならず、道路軸線と山岳眺望のあり方の視点から、そして駅前広場も、単なる交通処理のための広場ではなく市民の憩いの場となるよう検討を進めています。

太田地区

「きめ細かな行政サービスの確保について」

各地区活性化センターは、市と住民の架け橋であり、そこに従事する職員にも大きな期待を寄せている。人口減少や厳しい財政状況等から、職員数の削減はやむを得ないことであるが、市としても市民の側に立ち、活性化センターの正規職員の引き上げについては、慎重な対応をお願いしたい。

市長 国の三位一体改革等により、市の財政は厳しく、職員数の削減を図っているところですが、「きめ細やかな行政サービス確保」は行政の使命であり、この点を踏まえたくて、職員を削減していくことが飯山市の重要な課題であり、現在、自治体としての事務のあり方、組織のあり方を研究しているところです。

活性化センターは地区住民と直結しており、最もきめ細やかなサービスが求められる部署の一つです。地区住民の皆さんの意見を十分にお聞きし、今後の活性化センターのあり方について研究していきたいと思っております。ご理解をお願いいたします。

富倉地区

「過疎地域における 行政関連委員の選任方法の配慮について」

富倉地区では高齢化・過疎化が著しく進み、区や公民館、消防などの地域役員はもとより、行政にかかわる各種委員についても受け手が無く選任に苦慮している。

市には地域役員等の推薦や、行政関連委員の枠のあり方について検討していただき、中山間地域・高齢化・過疎が進む地区へ配慮をお願いしたい。

市長 市としても富倉ミニシティセンターやかじか亭の開設など、活性化の拠点作りにかかわってきましたが、富倉地区をはじめとして市全体で過疎化が進んでいる状況です。

富倉地区においては、民生児童委員等の役員選出において、他地区と合同で団体を構成するなど、既に合理化されているものもあり、職種によっては検討をされてみてはどうかと思います。

いずれにしても他の地区同様、必要最低限の人選をお願いしなければならぬ実情であり、役員等の削減には活性化センターを中心に地元の皆さんと相談しながら進めていきます。

秋津地区

「宮沢川の内水排除対策と 千曲川無堤防地の解消について」

千曲川増水時の樋門閉門による、宮沢川流域農地の冠水被害について、長年に渡り対応に苦慮している。リースによる排水ポンプ等対応策を講じてほしい。

また無堤防地域の伍位野～清川間について、引き続き国に対し築堤の要望をしてほしい。北畑付近の堤防も補修・改修の必要性を改めて検証してほしい。

市長 近年、大規模な増水が発生しており、改めて河川改修整備の重要性を認識しています。昨年は河川事務所による連下護岸災害復旧工事が行われ、築堤護岸工事が完了しました。

お話をあつた伍位野～清川間築堤も含め、河川管理者である国土交通省へ整備の要望をするともに、必要に応じリースによる排水ポンプの配備を含め対応していきたいと考えています。

北畑(県町県営住宅)付近の堤防は、国土交通省派遣指導員から心配ない旨の指導はいただいておりますが、増水時の監視を強めていきたいと考えています。

外様地区

「外様保育園の統廃合問題について」

外様・柳原保育園の統合については、一定の方向が出ていたにもかかわらず、市の財政難との事から計画が変更され、地区と行政との間に溝ができてしまった。しかし過日、市長から謝罪と、過去の経過について再検討の方向が示され、再び前進し始めたところだと考える。そこで今後は、過去の経過を踏まえ、市の実態に即し、跡地活用もしっかりと考慮し統合に取り組んでほしい。

市長 統合については、途中、新設統合の方向を断念せざるを得なくなり、検討が中断していました。しかしこのたび、地元の皆さんのご理解により、再び話し合いの機会を与えていただき、新たなスタートを切ることにしました。

市ではこれまでの保育園統合では、地元のご要望や実情を考慮し対応してきました。外様・柳原の統合についても、それを考慮のうえ対応していく方針です。

両園の統合は、柳原保育園の大規模改修で対応する所存です。外様保育園の後利用が課題となりますので、利用について研究をしていきたいと考えています。